

### センターハウス

モデル林の管理および里山体験や環境教育活動の拠点となる森の中心施設です。施設内は3つに区分され、各種セミナーや子どもたちに対する環境学習プログラムを実施する教室、軽作業ができる作業スペース、器具などを保管する倉庫として活用します。

また、センターハウスの隣には2基のバイオトイレも設置されています。



### 遊歩道

既存遊歩道と新設遊歩道を組み合わせ、高山城跡や穴弘法などの史跡を含む森全体を周回できるように設計された散策路です。安全対策として階段や手すりが設置されています。



### 展望休憩所(東屋)

里山散策で疲れた体を一休みさせる休憩所です。市街地を一望できる大変景色のよい場所です。

土岐高山城跡の森では、史跡探訪や、ウォーキングイベント、シイタケの菌打ち体験、巣箱づくり体験など、さまざまなイベントが実施される予定です。また、「高山城戦国合戦まつり」や「穴弘法もみじライトアップ」など各種イベントとの連携も予定されています。



☎ 土岐津町まちづくり協議会 ☎0112

### 環境保全モデル林 土岐高山城跡の森 案内図



## 環境保全モデル林

# 「土岐高山城跡の森」

## いざ出陣!

7月17日(日)、環境保全モデル林「土岐高山城跡の森」の開所式が土岐津町高山で行われ、関係者や地元住民らが参加しました。土岐高山城戦国武将隊の掛け声のもと、今後のモデル林の安寧で有効な活用が祈願されました。

### 環境保全モデル林整備事業とは

県では、平成24年度から「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用して、新たな里山再生手法の確立と全県への展開を目指した「環境保全モデル林」整備事業を進めています。これは、人々の「暮らし」が森から離れ、利活用されなくなったため荒廃した「里山林」の再生を図り、持続的な保全を目的とするものです。

県、市、プレーヤー(森づくり団体)、有識者らにより整備・活用計画を策定し、初期投資として県が路網整備、施設整備などを行います。その後は、プレーヤーが



土岐津町まちづくり協議会 会長 西尾正之さん

これからモデル林を維持・管理していくにあたり、プレーヤー4団体一同、大きな期待と責任を感じています。今後は力を合わせて、心を1つにして、土岐市民の憩いの場所となりますように取り組んでまいりたいと思います。

この里山の魅力の1つに、いつでも気軽に来られる森だということがあります。市街地からも比較的近くに位置しており、車で近くまで来られますし、お年寄りからお子さんまで、ぜひ足を運んでいただき、自然の織り成す四季を楽しんでいただければと思います。紅白のしだれ梅、ハナモモなど、すでに何種類かの花木を植えており、春には美しい花が咲き誇る風景を楽しんでいただけることと思います。

市内外からたくさんの方に訪れていただけるような、新たな土岐市の名所となるような、そんな魅力ある里山作りを進めてまいりたいと思います。

中心となり森林の管理・運営を行い、環境保全を目的とした森林経営を進めていく事業です。平成26年8月に同モデル林第3号として「土岐高山城跡の森」が選定されました。選定理由は、「コナラ・カシ類の広葉樹が中心で、市街地に立地している都市近郊里山林であること。また、高山城跡などの観光資源との連携により高いPR効果が期待されること」などです。

高山城高山宿史跡保存会、土岐里山の会、高山区自治会、土岐津町青少年育成会の4団体がプレーヤーとなり、今後、モデル林の維持・管理・活用を進めていきます。